

第98号

2025年11月28日

とよさと 議会

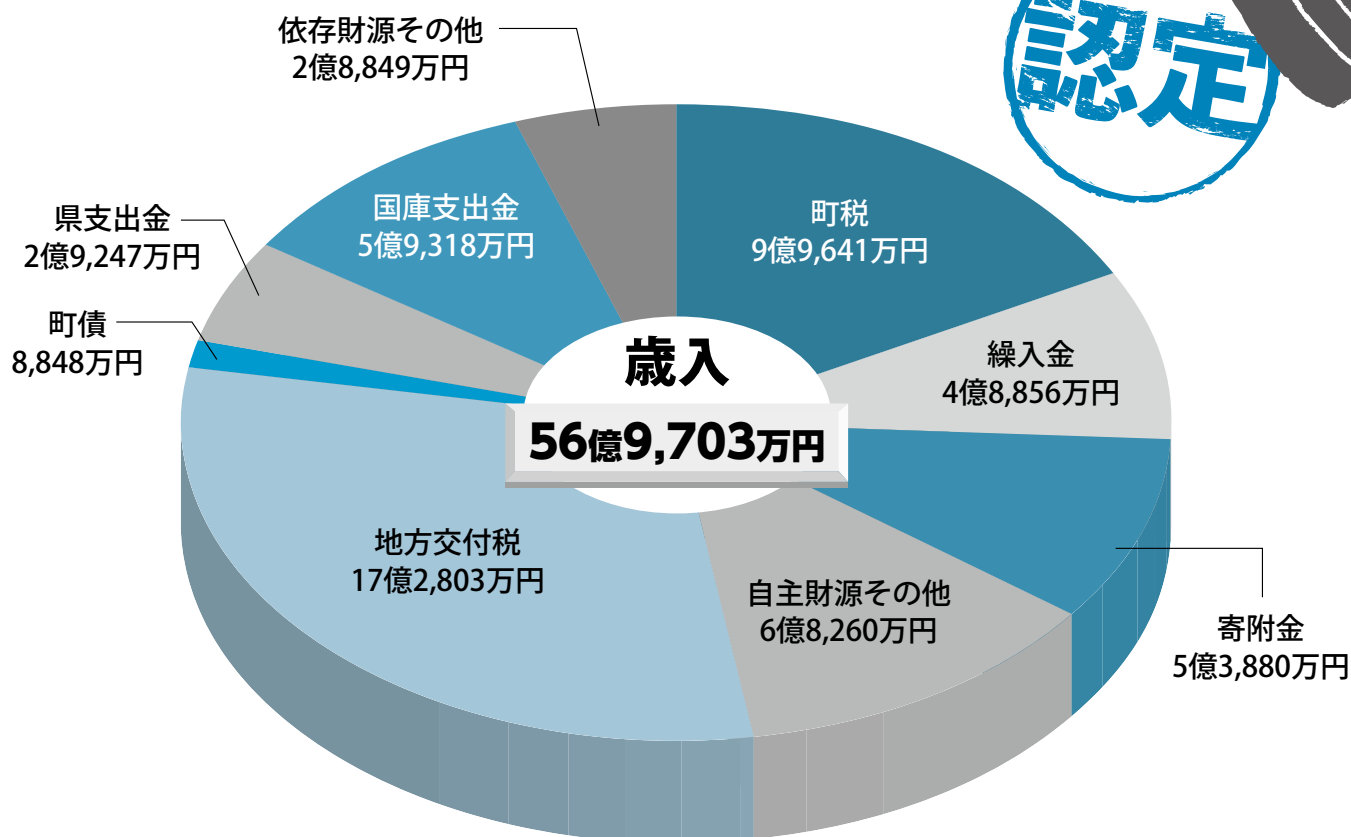


令和6年度一般会計歳入歳出決算

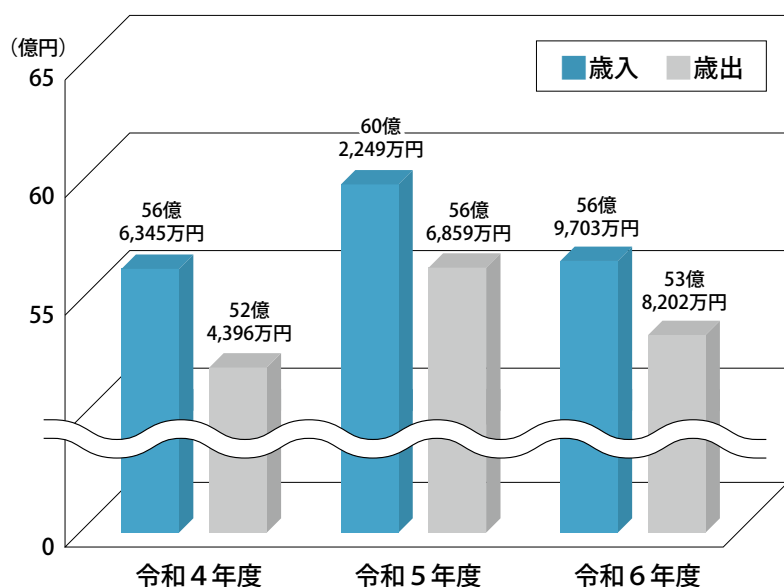
歳出総額

53億8,202万円

認定



過去3力年の歳入歳出決算



自主財源その他詳細

分担金及び負担金	1,242万円
使用料及び手数料	5,156万円
財産収入	408万円
繰越金	3億5,390万円
諸収入	2億6,065万円

依存財源その他詳細

地方譲与税	2,581万円
利子割交付金	42万円
配当割交付金	726万円
株式等譲渡所得割交付金	899万円
法人事業税交付金	2,191万円
地方消費税交付金	1億7,874万円
環境性能割交付金	501万円
地方特例交付金	3,978万円
交通安全対策特別交付金	57万円

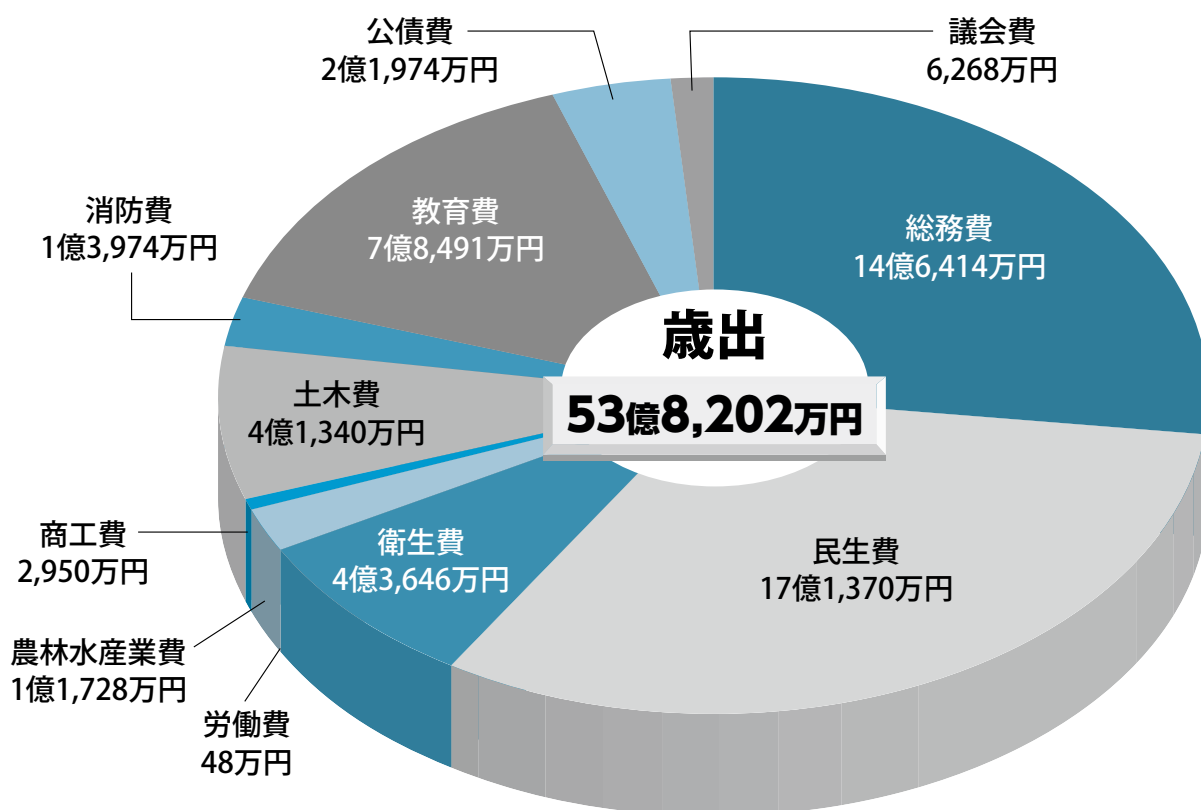
9月定例会

○9月定例会を9月5日から9月26日まで22日間の会期で開催しました。

○町長から提案された案件は21件（内訳は報告2件、同意2件、条例6件、補正予算5件、決算認定6件）、議員発議による条例が1件、請願が1件でした。

○一般質問は9月8日に7議員が行いました。

○9月定例会は最終日（9月26日）に、委員会に付託していた議案8件と請願1件を採決し閉会しました。



監査意見書（抜粋）



代表監査委員
渡邊 吉和

本町の財政構造については、経常収支比率が91.6%（前年86.4%）、経常一般財源比率が100.9%（前年100.7%）、財政力指数は0.424（前年0.421）、であり依然として厳しい状況にある。

今回の決算を踏まえ、今後も権利と義務が果たされる社会の秩序の維持のため公平公正な徴収を行うとともに、住民福祉の向上という行政の目的を見据え、限られた財源を有効活用しながら、健全な財政運営の継続に努めてもらいたい。

加えて、事業執行や財政状況等について、住民への説明責任を果たすことで、より一層の信頼性と透明性の確保を期待する。

小学校改修事業

両小学校のトイレを洋式化、乾式化、人感センサーの照明に改修。



改修前



改修後

(豊郷小学校) **2,814万円**
(日栄小学校) **2,760万円**

電気・ガス・食料品等 価格高騰緊急支援給付金

物価高騰の負担増で、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に給付金を支給。



4,195万円

災害対策事業費

指定避難所の災害時備蓄用の非常用保存食品(アルファ米、非常用保存飲料水)を購入。



226万円

職員研修事業・人事評価制度運用支援事業

職員研修として、コンプライアンス研修、OAスキル研修等を実施。職員の人事評価制度を支援する業務を委託。



468万円

一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出にそれぞれ
3億2,429万8,000円を追加

補正の主な事業

○すまいるたうんばすの買い替え
..... 539万1,000円

老朽しているすまいるたうんばすの車輛を買い替える。



現行のすまいるたうんばす

○水道減免事業の延長 846万円

物価高騰の影響を受ける生活者・事業者を支援するため、水道基本料金4カ月分の減免を行っているが、2カ月分延長をする。



賛成討論 反対討論

議案

議第48号 豊郷町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例案

- (条例の改正内容)
- ・昨今の物価高騰に対応するため宿泊料を引上げ
 - ・鉄道賃の特急使用の距離要件や日当、食卓料の廃止
 - ・私有自動車使用の際の車賃の単価変更等

本会議での討論

賛成 西澤議員

条例等にはきめ細かくいろいろな項目について予算措置されており、職員のためにも大変大事なことです。私は賛成とします。



反対 今村議員

実態として豊郷町職員の出張はほとんど県内。県外であっても日帰りで行く市町が多いうえ日当が出ている。今、地方自治においても職員のスキルを上げる、そして、職務の中でそれを生かす、といったことが今ほど大事な時代はない。また、職員のメンタルヘルス的な自己啓発、セミナーも各地で開催されている。もっと職員が各課でいろんなところで研修をして、自分の仕事にも生かしていき、住民にとってもよりよい町のサービスができるようになれば、その方が非常にいいことではないかと思う。

今回の改正で、日当、食卓料を廃止して宿泊料だけというのは、現実性に合わない。日当は残すべきで、宿泊料の引上げは物価高騰の中で当然だと思う。この条例改正については反対。



本会議での採決

賛成 8 人 反対 3 人 …… 賛成多数で可決

議案

議第56号 令和6年度豊郷町一般会計歳入歳出決算認定について

一会計年度の決算について、適正かつ妥当な執行がされたか議会が審査を行う。
町長は監査委員の審査意見を付けて、決算を議会の認定に付さなければならない。

予算決算常任委員会での採決

賛成 7 人 反対 3 人 …… 賛成多数で認定

本会議での討論

反対 今村議員

決算書では、実質収支額が約2億2,240万円の黒字。さらに、財政調整基金積立額が約3億800万円であり、実質黒字は約5億3,000万円だった。豊郷町民の共同財布である予算は、民主主義に基づいて財政運営をすることが、地方自治法や地方財政法にも明記されている。このことを受け、日本共産党町議員団は、令和6年3月議会で、町予算に対する修正動議を提出した。喫緊の町民要求の中から、1つ、高い介護サービス負担を減らすたびに、介護認定者激励金1,360万円、2つ、待機児童解消のため、待機児童解消補助金300万円、3つ、少子化の中、子どもたちに高等教育の保障と、豊郷町への定住促進を目指し、給付型奨学金880万円で総計2,540万円の増額修正を出した。今回の決算を見るに、5億円を超える予算が未執行になったということは、地方財政の原則である総計予算主義や会計年度独立の原則から逸脱をしていると考える。町民の多様な要求に沿った予算執行を怠った結果と言え、企業会計は利益追求が求められるが、地方財政は先に述べた法に基づき執行されるべきものであるため反対とする。



本会議での採決

賛成 7 人 反対 3 人 …… 賛成多数で認定

議案

議第57号 令和6年度豊郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

文教民生常任委員会での採決

賛成3人 反対2人 …… 賛成多数で認定

本会議での討論

賛成 西澤議員

国民保険制度は、他の医療保険制度に加入されていない全ての住民の方を対象とした医療保険制度。令和3年には現役世代への給付が少なく、給付は高齢者中心、負担は現役世代の中心という、これまでの社会保障の構築を見直し、全ての世代で広く安心を支えていく、全世代対応型の社会保障制度を構築するために、健康保険等の一部を改正された。また、令和6年度において診療費、調剤費、入院時食事・生活療養費、訪問看護療養費といった療養の給付費等の費用額は昨年度に比べて減少した。しかし、これは社会保障の適用拡大や後期高齢者医療制度の移行等の影響によるものであり、1人当たりの医療費は増加傾向。今後の課題としては、①医療費抑制と病気の早期発見、予防策、②特定検診受診の向上、③国民健康保険事業特別会計の財政基盤の強化を努めていくことだということを申し上げ、全体的に適正な財政措置をされているため賛成とする。



反対 今村議員

国民健康保険法第1条でその目的として、国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与すると書かれている。また第2条では、国民健康保険は被保険者の疾病、負傷、出産、死亡に関して必要な保険給付を行うこと。また第3条には、都道府県は、市町村とともにこの法律の定めるところにより国民健康保険を行うことと明記されている。実質収支額が約1,600万円、年度末の基金残高が約4,170万円、合計約5,770万円。国保加入者1人当たり約3万7,800円。町は県統一化に向け、令和6年度に国保税の大幅値上げを行った。そして、国保加入者の保険料や窓口負担額も負担増が続いている。この国の制度改悪、言いなりの町会計運営では国保世帯加入者の生存権は守れない。町独自の施策として、傷病手当の実施や高校生までの均等割の減免などを実施すべきであると考え、反対とする。



本会議での採決

賛成7人 反対3人 …… 賛成多数で認定



賛成討論 反対討論

議案

議第58号 豊郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

文教民生常任委員会での採決

賛成**3**人 反対**2**人 …… 賛成多数で認定

本会議での討論

賛成 西澤議員



介護保険制度は、介護が必要な高齢者の自立支援や介護する家族の負担軽減を図るため、社会全体で支え合うことを目的として、創設された制度。介護サービス、在宅介護サービス給付及び施設介護サービス給付費ほか、特定入所者介護サービス、包括的な支援事業などの費用に財政措置され、介護を受けている方々に支援されていると私は思う。今後の課題としては、①介護保険事業運営に対する財源の確保、②介護現場で働く労働力の不足、③介護保険者機能の強化の取組。こうした課題を解決しながら、利用者が自立した生活を続けられるよう、実態に即した高齢者福祉と介護保険サービスに対して積極に取り組んでいると勘案している。

反対 今村議員



実質収支額プラス基金残高は約4,400万円。これを1人当たりになると、約2万2,000円の貯金があるということ。3か年のうちの1年目の決算が出て、第9期の初めに保険料を300円引き上げて6,700円にしたが、この決算状況を見ると、引上げをしなくても第9期を運営できることが、今回の決算状況から推察がされる。居宅介護事業所の減少は、今、町民の介護サービスを脅かす大きな要因となっている。介護サービスが安心して受けられる事業とすることが当然必要と求められるが、年をとっても住み慣れた環境で安心して暮らし続けられる介護保険サービス、この町の介護保険事業を実現していくためには、今回の決算では、甚だ不十分と考えられる。

本会議での採決

賛成**7**人 反対**3**人 …… 賛成多数で認定

議案

議第59号 豊郷町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

文教民生常任委員会での採決

賛成**3**人 反対**2**人 …… 賛成多数で認定

本会議での討論

反対 今村議員



この制度は、後期高齢者を差別する制度で、世界で全国民を対象にする公的医療保険制度を持つ国では存在しない制度。本来は廃止すべきものとする。さらに問題点として、これは広域連合議会でも審議をされているが、この広域議会には被保険者代表はおらず、被保険者の声が届かない。国は、後期高齢者医療保険料を所得に応じた段階制を取らず一律に取り、窓口負担も原則1割負担であったのが、2割、3割も導入している。後期高齢者になれば、複数の疾病で入院、通院が増えるのは当たり前。年金のみで暮らす高齢者の健康や、また医療を保障する制度にはなっていないことを指摘して、反対とする。

本会議での採決

賛成**7**人 反対**3**人 …… 賛成多数で認定

議案

請願第1号 生活保護費引き下げ違憲訴訟の最高裁判所判決を踏まえ、速やかな対応を求める請願

<請願趣旨>

2025年6月27日、厚生労働省が2013年から行った生活保護基準引き下げは違法であるとして、処分取り消しを認める最高裁判判決を踏まえ、生活保護受給者全員に対し、独自措置を行い、国へ速やかな対応を求めるよう意見書提出を求める請願。

文教民生常任委員会での採決

賛成3人 反対2人 …… 賛成多数で採択

本会議での討論

賛成 本田議員



憲法25条では、全ての国民は、健康で、文化的な最低限の生活を営む権利を有するとされている。この25条による国民の生存権を具体化したものが生活保護法。生活保護法基準は、最低賃金、住民税非課税、国保減税など国民の最低基準を具体化する物差しとなっており、これを引き下げると国民には大きな影響を与える。

厚生労働省が2013年から2015年の3年間、生活保護の生活扶助基準を平均マイナス6.5%、最大1%、年間約580億円を引き下げた。これを不服とした住民との間で争われ、6月27日、最高裁はこの引下げ処分は違法と判断し、厚生労働省を断罪し、住民側の勝訴とした。争点になったのは、厚労省が引下げの根拠としたデフレ調整、物価の下落率に合わせて生活扶助費を引き下げること。2013年の総務省の消費者物価指数は2.35%、厚労省の独自の物価指数はマイナス4.78%と、数値に2倍近い差があった。

こんなに違いが生じたのは、様々な物価の動向を調査している総務省調査に対して、厚労省調査は引下げの基準点を石油や穀物が高騰した年で物価が急に高騰した2008年に定め、また、白物家電の価格が大きく下落した2013年に、パソコン、テレビなどの購入の前提を調査項目としたため。しかも、生活保護基準の検証に当たって物価を考慮したことはそれ以前にはなかった。

最高裁判判決は、厚労省物価調査が恣意的であることを認め、生活保護の引下げは専門家の知見に基づくとは認められない、デフレ調整の判断過程と手続に誤りがあったとし、生活保護基準の引下げ処分が生活保護法3条及び8条2項に違反して違法であるとして、取り消した。それにもかかわらず、厚生労働省は、原告、生活保護利用者に謝罪を行っていない。国は行政としてはもとより、人間として許されない態度を取っている。請願事項は11年間に及ぶ審議を踏まえ、最高裁が示した判決に基づいた上記に沿った内容である。

反対

河合議員



請願たるものは、紹介議員が内容を十二分に把握して、賛同の上、趣旨説明や質疑に対する答弁を行うべきだと常々言ってきた。安直でサインなどしないことということ。この請願では、紹介議員が3名もいるのにかわらず、なぜか参考人招致が行われたことは、いかがなものかと私は思う。

生活保護費の目的は、生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限の生活を保障するとともに、自立を助長することであるということに、私は真に生活保護制度の必要な方々に生活保護費が支給されることを願っている。国は判決を真摯に受け止め、専門者会議の中で取りまとめていると聞く。現時点において、町議会が国に対して意見書を提出するときではない。我々議員の役割は、まず町に対しての住民の福祉向上につながる提案等を行うことが先決だと私は思う。したがって、今回の請願については、時期尚早であるとして、反対。

本会議での採決

賛成4人 反対6人 …… 賛成少数で不採択



予算決算常任委員会

議第51号 令和7年度豊郷町一般会計補正予算(第2号)

総務課

問 住宅借入金等特別税額控除減収補填特交付金とは。減額理由は。

答 住宅ローン減税で、本町の住民税が減った分を国が補填するもの。

問 令和7年度の普通交付税の現在高はいくらか。

答 12億9,129万円。

問 防犯カメラ設置事業補助金はどこに何箇所設置されるのか。

答 吉田区に5台。

税務課

問 固定資産税・町民税還付金280万の内訳説明を。

答 主に法人税と町県民税の還付金。大きなものでは法人税の修正申

告で130万円の還付金があった。

産業振興課

問 環境保全型農業直接支援対策事業負担金の対象の農家数、面積は。

答 令和6年度実績で11団体の団体が活動されている。あぜの除草、長期中干しが5,745アール。

上下水道課

問 水道基本料金の減免は9月からという話だったが、詳細は。

答 8月使用分が9月に請求される。9月の引落とし・納付書発行分から減免を開始する。

人権政策課

問 修繕料131万円の内容は。

答 日栄の子ども公園フェンスの修繕を行うのに55万円。三ツ池の団地内細い残地の舗装を行う、76万円。

教育委員会

問 フリースクール等民間施設利用児童生徒支援事業補助金の詳細を。

答 1日1,000円で、1ヶ月1万円上限。県の補助金(2分の1の補助)申請が4月に終了しており、追加申請がないと聞いている。今年度利用があった場合は単独で全額支給し、来年度以降は県の補助金を活用する。

問 日栄小学校管理費の修繕料233万円の詳細を。

答 体育館の消火器4台、LEDの誘導灯の不良箇所2台、非常用照明器具41台を更新する。

問 日栄小学校管理費の冷暖房設備保守点検委託料31万円の詳細を。

答 厨房用エアコンの分解洗浄作業の委託を行う。

問 中学校管理費の修繕料99万円の詳細を。

答 消防設備の点検で修繕箇所が指摘された。ランチルームの消火器5

本と体育館の自火報の感知器2台を改修する。

討論なし
全員賛成で可決

議第56号 令和6年度豊郷町一般会計歳入歳出決算認定について

総務課

問 交通指導員等活動の6年度実績は。

答 交通指導員15名、シルバーキャラバン隊15名の計30名に、上期、下期で活動費を交付。

企画振興課

問 社会保障・税番号制度システム整備費補助金の事業内容説明を。

答 企画振興課所管分の262万円は、マイナンバーの中間サーバーと呼ばれるものがあり、その維持管

理費に充てる費用として補助されたもの。

問 電算計算管理費の委託料、システム開発委託料1,314万円委託内容と委託先は。

答 全て標準化のシステム移行業務。委託先はケーケーシー情報システム、機器の関係はオプテージ。

税 務 課

問 町民税が前年に比べて15%マイナスになった要因は。

答 令和6年度は定額減税による1人当たり1万円の減税があったため。

問 町民税はどういった理由や経緯で不納欠損に至るのか。

答 生活保護や廃業、居所不明等。

問 固定資産税前納報奨金の活用実績と1件当たりの平均金額はいくらか。

答 令和6年3,505件のうち前納報奨金を利用されたのが2,212件。1人当たり1,393円。

保健福祉課

問 障害者医療費負担金の対象者数は。また、そのうち人工透析の方は何名か。

答 厚生医療と育成医療の対象33名。人工透析の方は19名。

問 障害児入所給付費等事業負担金の対象者数と利用施設は。

答 年度中で増減があるが、約25人が対象。

医療保険課

問 湖東圏域の発達障がい対象児の具体的な早期発見の支援対策があったのか。

答 支援対策は小児科医発達外来を週2回設けており、4町で30名受診。うち豊郷町は、1名の方が令和6年度に新規の受診につなげることができた。

地域整備課

問 不動産売払収入の実績の説明を。

答 ①沢414番地付近。機能を失っている水路の払下げ。新築の家を建てるため敷地を一体利用したいということで売払いをした。
②大町。役場から三ツ池を抜ける国道8号線手前にある戸田倉庫内の水路。敷地一体利用として利用されるため払い下げた。

人権政策課

問 改良住宅使用料の徴収件数は。

答 96件。

問 改良住宅の譲渡は何軒あったのか。また、譲渡事業対象の残りは何軒か。

答 令和6年度に譲渡が終わったのは2軒。あと73軒残っている。

問 公営住宅費の光熱水費と修繕料の内訳は。

答 光熱水費…各団地の電気代42万

円。水道の使用料2万円。

修繕料…管工事21件、建具工事16件、板金工事8件等、56件の修繕。

教育委員会

問 保育園給食費227万円は何名分の徴収か。

答 前期14名、後期20名、延べ505名分。

問 中学校の修繕料1,094万円の内容は。

答 雨漏りの緊急修繕132万、自動火災報知機設備の更新工事556万円、体育館の音響設備の更新に281万円。その他エレベーターの劣化部品やガス漏れ報知機を取替え等小規模な修繕を行った。

討論あり(反対討論、賛成討論)
賛成多数で可決



総務産業建設常任委員会

議第55号 令和7年度豊郷町水道事業会計補正予算(第2号)

上下水道課

問 会計年度任用職員の際は任用企業職員だが、一般職員になった場合の任命権者は。

答 任命権者は町長。そこから人事で水道課に異動し、水道事業管理者が任命権者になる。

討論なし
全員賛成で可決

議第60号 令和6年度豊郷町水道事業会計決算認定について

上下水道課

問 水道使用料の経営指標で料金回収率は。

答 収率とは。令和5年度が92・88%、令和6年度が81・54%と10%程料金回収率が落ちているが。

答 料金回収率は、経常経費の部分を使用料金でどのぐらい賄えているかという指標。変動した理由は、5年度から6年度に繰越事業があり、6年度に執行したため、費用化した経費が増大して回収率が下がった。

問 未届けの水道利用の原因と件数は。

答 計量法の関係で8年に1回は水道メーターの交換が必要であり、休止中のメーターも交換する。その際メーターが動いており、開栓届の届出がないまま利用されていることがわかった。遡^{さかの}って使用料を払っていただく予定。令和6年度に交換して発覚したのはこの1件のみ。

問 未届け使用を予防する方法はないのか。

答 住民票の異動等を注視している。

問 給水人口・配水量が減っているが、給水戸数は増えている。要因は。

答 核家族や単身世帯が増えたことにより、給水戸数が増えた。また、シャワーヘッドや、トイレ、洗濯機の性能が改善され、節水能力の高い器具が増えてきているため、使用される水の量も少なくなっていると考えている。

問 水道メーターの検針員の報酬額は。

答 1件の検針ごとに税込みで110円。

問 定年はあるのか。

答 特に定めていない。



問 顧問弁護士報酬の内容と件数は。

答 未納使用料の回収の際、内容証明等を送付いただいている。最終的に通知を4名の方に送った。

問 工事負担金の移転補償費の内容説明を。

答 安食西八目線(県道)の工事にて、配水管の移設工事を行った。その部分を県から町に補償される。

問 北部浄水場の新たな井戸の場所と進捗状況は。

答 具体的な場所は決まっていない。浄水場裏の墓辺りから甲良町の方に向け、一直線上に田んぼを電磁探査にかけ、水質のいいところを探す。業者は決まり、これから電磁探査調査に入る予定。

討論なし
全員賛成で可決

議第61号 令和6年度豊郷町下水
道事業会計決算認定について

上下水道課

問 管渠費の修繕内容の説明を。

答 ①公共下水道管渠マンホール修繕…令和5年度に実施したカメラ調査で発見した必要な箇所の修繕。マンホールのかさ上げや、マンホール周りの舗装等。

②石畑マンホールポンプ修繕…石畑にあるマンホールポンプが故障したため緊急修繕を行った。

③雨降野墓地道線舗装工事下水道負担分…地域整備課が雨降野の舗装工事を行っており、その一部に下水道管敷設時の転圧不足が原因と思われる箇所があったため、負担金という形で舗装の一部負担をした。

④三ツ池防災道路線1号人孔修繕…三ツ池防災道路線1号という町道の人孔周りの修繕を行った。

⑤八目里道公共汚水桝撤去…中山道沿い。地域整備課が地籍の更正をしたが、里道側に公共桝が残置されてしまったため撤去した。

問 下水道認定メーター検針の場所と委託先はどこか。

答 井戸水を使っている事業所等には下水に流入するためのメーターがないので、流量が分からない。そのため、認定メーターを料金算定用に設置。検針は水道の検針員さんに併せて3件を委託している。

問 昨年度、県の流域下水道が負担増を決めた説明があったが、県全体の計画は明らかになったのか。また、豊郷町への影響は。

答 令和7年度は処理単価据置きで進んでいる。令和8年度から負担が1立米当たり61・6円→72・4円で決定した。豊郷町は大体1,000〜1,300万円増額になる試算をしている。

問 増額見込みは単年度か。

答 単年度で値上がりし、今後もそ

れが継続される。

問 今後の水道料金値上げも含め、町としての長期的な方針はあるのか。

答 物価の高騰等のため処理費が増え、今後の見通しもつかない。下水道の処理費、処理の関係は、流域と県にお願いしているため、負担金は払わざるを得ない。物価高騰のありで、ほかの市町も順番に値上げが検討されている。収入増のため、使用料の値上げを審議会に投げかけ答申を出しているところ。

問 沢マンホールポンプ取替工事の詳細を。

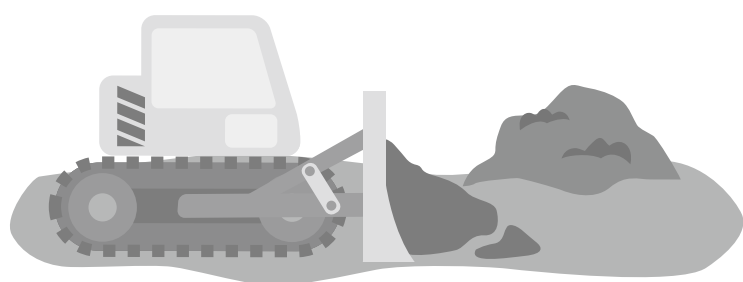
答 天下一品豊郷店から1本北側の道にあるマンホールポンプのポンプ自体交換が必要になり、2基交換を行った。年次点検で交換が必要であると評価されたため交換した。

問 県道安食西八目線補助道路布設替工事の詳細を。

答 安食西八目線の拡幅工事をされるが、道路の真ん中に人孔が来て

しまい今後の維持管理上支障が出るため、人孔の位置をずらす工事を行った。場所は阿自岐神社の裏通りの十字路。

討論なし
全員賛成で可決



文教民生常任委員会

議第57号 令和6年度豊郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

税 務 課

問 国民健康保険税(医療給付費分)の軽減世帯は全体の何%か。

答 約60.5%。

医 療 保 険 課

問 特別交付金(保険者努力支援分、特別調整交付金分)の実績内容は。

答 保険者努力支援分…重複頻回^{ちゆうぶひんかい}の受診者へのアプローチ、後発医薬品の使用率、収納率などで、項目ごとのポイントに応じて交付される。

特別調整交付金…非自発的失業者の方への軽減分やジェネリックの費用、制度改正等、産前産後の保険

料負担金の回収のシステム改修費などが大きなものとなっている。

問 令和7年度は被保険者が100人以上減少する推計になっている状況は。

答 令和7年8月時点で被保険者数は1,459人。減少が進んでいる。

討論あり(反対討論、賛成討論)
賛成多数で可決

.....

議第58号 令和6年度豊郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

医 療 保 険 課

問 介護給付費準備基金繰入金、当初予算960万から1,081万円に増額補正された。増額になった要因は。

答 給付費の不足。計画値より大幅に増えているサービスがある。

問 令和6年度の特定入所者は何人か。

答 月平均59人程。

討論あり(反対討論、賛成討論)
賛成多数で可決

.....

議第59号 令和6年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

医 療 保 険 課

問 高齢者人口の今後の動向は。

答 二、三年後にもう少し人口の多い層が到達するため、後期高齢者自体は減らない見込み。ただ、65歳以上の到達される方はしばらく少なくなっていく予想。

討論あり(反対討論)
賛成多数で可決



私はこう判断

議案審議

令和7年 9月 定例会

賛否が分かれたもの		議員名												結果
		長谷川	西山	井上	本田	辻本	中島	村岸	前田	西澤	鈴木	河合	今村	
議第41号	令和6年度財政健全化判断比率について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
議第42号	令和6年度公営企業会計に係る資金不足比率について	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告
議第43号	豊郷町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議第44号	豊郷町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	同意
議第45号	豊郷町議会議員および豊郷町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第46号	豊郷町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第47号	豊郷町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第48号	豊郷町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	×	○	○	-	○	◎	×	○	☒	可決
議第49号	豊郷町家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第50号	豊郷町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第51号	令和7年度豊郷町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	欠	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第52号	令和7年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第53号	令和7年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第54号	令和7年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第55号	令和7年度豊郷町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	欠	○	-	○	○	○	○	○	可決
議第56号	令和6年度豊郷町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	欠	○	-	○	○	×	○	☒	認定
議第57号	令和6年度豊郷町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	欠	○	-	○	◎	×	○	☒	認定
議第58号	令和6年度豊郷町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	欠	○	-	○	◎	×	○	☒	認定
議第59号	令和6年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	欠	○	-	○	○	×	○	☒	認定
議第60号	令和6年度豊郷町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	欠	○	-	○	○	○	○	○	認定
議第61号	令和6年度豊郷町下水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	欠	○	-	○	○	○	○	○	認定
発議第6号	豊郷町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案	×	○	×	×	○	×	-	×	○	×	○	×	否決
請願第1号	生活保護費引き下げ違憲訴訟の最高裁判所判決を踏まえ、速やかな対応を求める請願	○	×	×	◎	欠	×	-	×	×	○	×	○	不採択

（○は賛成、◎は賛成討論を行った、×は反対、☒は反対討論を行った。議長は可否同数の場合のみ採決に加わる。報告は採決なし。）

委員会等の出欠状況

日付	会議	議員名											
		長谷川	西山	井上	本田	辻本	中島	村岸	前田	西澤	鈴木	河合	今村
9月2日	議会議員全員協議会	出	出	出	出	欠	出	出	出	出	出	出	出
9月5日	第3回定例会（開会）	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
9月8日	第3回定例会（一般質問）	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
9月10日	予算決算常任委員会	出	出	出	出	欠	出	出	出	出	出	出	出
9月12日	総務産業建設常任委員会	—	出	出	—	欠	—	出	出	—	出	—	—
9月16日	文教民生常任委員会	出	—	—	出	—	出	—	—	出	—	出	出
9月26日	第3回定例会（閉会）	出	出	出	出	欠	出	出	出	出	出	出	出

注1 「出」は出席、「欠」は欠席です。 注2 委員会は、所属する委員のみあらわしており、「—」は出席の必要はありません。



一般質問

ここが聞きたい

一般質問とは

議員が、町が処理するすべての事務について質問し、町長の所信を質したり、事実関係を明らかにするだけではなく、政策について議論するものです。

9月議会では7議員が一般質問を行いました。(質問順)

鈴木 べんいち 議員

- ★人間ドック・脳ドックへの検診費助成の拡充を求める
- ・育苗センターの現状・利活用について問う
- ・空き家の適正管理について問う
- ・本町の米づくりについて問う
- ・安定ヨウ素剤の備蓄・配布について問う
- ★在宅高齢者支援助成事業の拡充を求める

長谷川 たかやす 議員

- ★学童保育について
- ★大規模災害時の避難所基準、備蓄品について
- ・農業政策について

かわい 勇 議員

- ・職員の服務について問う
- ★二度、墓地の設置および管理に関する条例について問う

いのうえ きみ子 議員

- ★空き家対策について

西澤 ひろかず 議員

- ★認定こども園について

本田 きよはる 議員

- ★小学校低学年の通知表廃止の検討を
- ・補聴器の補助金の増額を
- ・広報『とよさと』への自衛隊募集広告掲載について検討を
- ・会計年度職員へのボランティア休暇制度の導入を

今村 えみこ 議員

- ★持続可能なごみ行政を作るために
- ・第9期介護保険事業の問題点について
- ・国民健康保険税の負担軽減を
- ★改良住宅で町に返還された空家の適正な管理と売払いの促進を
- ・愛里保育園で離乳食・きざみ食の実施を

★の質問を掲載しています。

冷暖房費の拡充・増額を求め

いろんな声がある事を理解願いたい



鈴木 べんいち 議員

支援地方交付金で、それ以外は、一般財源。

問 冷暖房費助成は、平成19年度に始まり、その後事業実施年度、事業名、助成額が変わってきたが、次の点について明らかにされたい。

①事業が実施された年度。
②事業費の財源。

答 (保健福祉課長)

①平成19年、20年、25年、26年で29年度以降は毎年実施。

②平成20年度は、国の交付金。今年度は、国の重点

問 この事業は当初は、灯油等購入助成費として始まり、次が原油等高騰対策事業となり、原油の高騰が大

きになった時に実施されることになり、平成27年は原油が落着き実施されませんでした。私は、この問題について過去議会で8回取り上げて来ました。2018年の9月議会では、「命に関わる暑さ」に対する町の迅速な対応を求め、暖房費と同様にエアコン電気代の補助を考えたらどうかと質問しました。町長からは、「一つのルールづくりが大切だと考える。軽々とは言えませんが、アイデアを提案していただければ」との回答

があり、2021年度から冷房代として3000円が上積みされ今の8000円になりました。この異常な暑さのなか、エアコンなしの生活は考えられませんので、制度の拡充を求めます。

答 (保健福祉課長)

近年の異常な暑さについては痛感していますが、現状のままでお願いします。

問 本町は、18才までの医

療費の無料化を県下で初めて実施し、冷暖房費助成についても先駆けて実施してきました。町長の英断で上積みを決断していただき

答 (町長)

「もうちょっとキリのええ額にせよ」という声もあり、また、「65歳以下にも」との声もある事をご理解いただきたい。

75歳以上も、人間・脳ドックの補助対象に

一般財源となり・・・

問 現在、35歳以上75歳未満の国民健康保険加入者を対象に、人間ドック・脳ドックの検診補助がされていますが、その助成対象を町独自で75歳以上に拡充することとを求めるが見解を。

答 (医療保険課長)

国保特別会計で実施して

いますドックの助成については、一部県からの補助金を財源に、検診費用の助成をしています。後期高齢者医療保険の加入者に町独自のドック検診費助成を行うには、補助金の財源がなく、全額が一般財源となりますことから、町独自の助成に

については考えていません。

問 町広報の8月号に、「人間ドック・脳ドック検診費助成2次募集のお知らせ」が掲載されています。毎年、この時期に2次募集が行われています。3月議会で、後期高齢者健康診査項目の拡充を求める質問をしましたが、その事を周りの人に話すと、「人間ドック・脳ドックの補助も取り上げて欲しい」との声でした。中には役場に行かれた方がありますが、要望は県には伝えていただいたのでしょうか。

答 (医療保険課長)

メールで要望があった事は、お伝えしました。

問 人間ドックの検診費補助は26,000円です。さらに30人分を予算化しても780,000円です。ぜひ、新年度で検討を求める。

答 (医療保険課長)

財源が一般財源の持ち出しとなり・・・

学童保育の毎週土曜日開設を

ニーズが増えれば今後検討



長谷川 たかやす 議員

問 保護者の方の就労形態は、今、多種多様になっており土曜日の毎週開設を提案いたします。

答 (教育次長)

現在、月1回の土曜日開設をおこなっておりますが、昨年度の利用者は2名で利用者の方が少ない現実もあり、毎週開設の必要性は高くない。開設するにも、指導員の確保、運営コストも増加する。現状の利用人数では毎週開設はできない。

問 市町村は当該市町村以外の放課後児童健全育成事業を行う者との連携を図る等により、利用の促進に努めなければならないと書かれている。本町だけで無理ならば、彦愛犬で協力し毎週土曜日の公設学童保育の開設ができないだろうか。本町では条例を変える必要がありますが。

答 (教育次長)

学童保育には広域利用と

いう制度がありません。今年度にし少しニーズが増えましてので枠の拡大は今後検討する課題と考えます。

大規模災害時の避難所基準、 備蓄品について

段ボールベッドは 追々増やしていければ

問 南海トラフ地震など災害時に何名の方が避難所に来られ、何日避難されると想定しているか。避難所の広さ、備蓄品量も足りていないが答弁をお願いします。

答 (総務課長)

本町の防災計画では、避難者数1,913名、生活必需品1,052名を備蓄目標としています。避難所の広さについては、字の公民館やお寺や民家が能登半島地震の際にも使用されてきました。食料や生活必需品については応援協定や国から

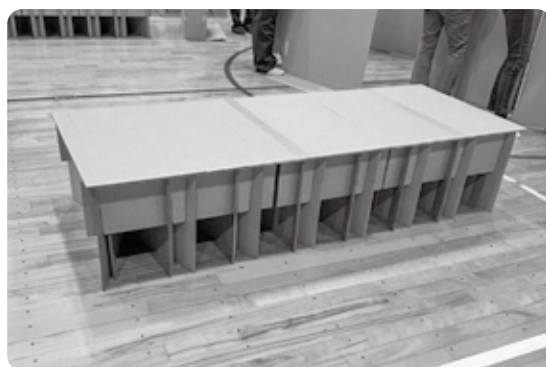
の支援で物資が搬入されていた。災害の規模や被害状況によって対応していく。

問 避難所に来る方々の命を守る避難所にしていただきたい。南海トラフ地震が起きると広範囲にわたり被害が存在する。救援物資が速やかに来るとは考えられない。備蓄品、避難所を多くした方がいいのでは。スフィア基準にどこまで近づけられるか。段ボールベッドとか

体調を悪くしにくい、災害関連死につながらない避難所にしてほしい。

答 (総務課長)

段ボールベッドは追々数を増やしていければと考えています。





かわい 勇 議員

墓地の設置及び管理に関する 条例について

弁護士と相談しながら 解決に向けて進んでまいりたい

問 条例に墓地の管理は町長だと明記されており、町長が墓地の管理者です。当然のことながら法令や条例、規則を守り義務を果たすのは我々議員、行政です。

私の質問に担当課長は、「議員のおっしゃるとおり、墓地の管理は町長が行うと明記されております。」と答えました。

私は、①「道路等の管理」は墓地全体を指し、②「永年貸与を受けたところ及び」は個人の墓石が立っている個々の区画並びに区画道路と、それぞれ理解すべきと私は考えます。

再度聞いておきますが、条例の第4条には何と書かれていますか。

次に、私がいつも言っているように、大町墓地は、大町、高野瀬、沢、下枝、杉、日栄、石畑、八町等それぞれ東西南北に墓地の使用者が分散されていることではない、事業での自治計画の変更のとき、行政が墓地についても整理すべきではなかったのかと疑問に思いま

す。町は、町民の資産・財産を保全する義務があると考えますが、答弁を求めます。

答 (住民生活課長)

墓地の設置及び管理に関する条例の第4条には、「墓地の管理は町長が行う」と書かれています。

次に町は公有財産を保全する義務があると考えます。

問 担当課長の答弁のとおり、第4条には、「管理責任者は町長」だと明記されています。

永年貸与以外は、町の管理、管理者は町長ですから、町が持つべきだと思っています。

墓地の所在地は大町です。しかし、杉、日栄の方の墓石はありますが区としては大町区ではありません。昔は、分散される前まではそれでよかった。

この点からも行政は考えていただいて、条例を変えるにしろ、いろんな文言を入れるなどの改正を検討していただきたいと思っています。

また、私は議員全員協議

会のあと、長谷川議員と議論したそのとき、何と本人の口から「俺は水道既設備交換を住民課長から許可をもらってます。」と言いました。

私は、住民課ですか、誰ですか、誰かと言ったら、はっきり課長名を言いました。

そこで、本当に長谷川議員の言うように担当課長は許可したんですか。

本人は、そう言ってますから担当課は本当に長谷川議員に対して、許可をしたのか答えてください。

答 (住民生活課長)

墓地につきましては、地域の共同墓地として運用いただきたく、利用されている皆様で判断されるべきことであると捉えております。

役場が墓地の運用についての判断や許可をするものではないという認識を私は持っておりまして、許可をしたという覚えはございません。

問 「許可はしていません。」と、担当課長から答弁がありました。これってどうい

うことですか。行政の担当課長に許可を取ったと長谷川氏は言うんですが、担当課長は知らない、言っていない。これは許しがたい問題です。行政は問題にすべきです。そうでしょ。名誉毀損ではないですか、言ってもいないことを、個々の固有名詞まで発言する。

行政は、専門の顧問弁護士を雇っていますから相談すべきです。これは行政の責務やと思います。行政として、一度相談したらいかがですか。最後に町長、答弁を。

答 (町長)

6月の議会では「ポンプを替えるのに町長はどのように聞いたか。」との質問に、一言声をかけていただいたらありがたかったなと、そのように答えました。

そういう状況ですから、今の状況を踏まえながら墓地の管理運営につきまして、しっかりと弁護士と相談しながら解決に向けて進んでまいりたいと思います。

空き家対策について



いのうえ きみ子 議員

何かいい施策がないか検討したい

問 空き家は、長年放置されると雑草や雑木が道路や隣家に伸びるなどの問題を引き起こし、防災、衛生、景観など地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす懸念があります。

そこで町は、空き家・空き地情報バンクの登録募集を行っています。利用者が購入希望者に対する支援は考えか。

全国の各市町では、移住・定住に結びつける施策をいろいろと実践していますが、豊郷町の売りは何だと思っていますか。

また、町は空き家や空き地の情報提供のみで、あとは滋賀県宅建宅地取引業協会頼みのようですが、移住・定住につながるのか。町は、売る側、買う側の利点は何だとお考えか。

答 (企画振興課長)

移住者支援については、県と連携して移住・定住の

促進や中小企業等における人材不足の解消に資するため、例えば東京圏から県内に移住し対象中小企業に就職した場合、移住支援金を補助する制度があります。

豊郷町のアピールポイントには、高校生世代までの医療費無償化や小中学校の給食費無償化など、子育て施策の充実、高齢者には、「すまいるたうんばす」や補聴器の補助金など、全ての世代に優しい町であることだと考えています。

バンクを利用するメリットは、売る側、買う側双方に役場が関わることによる安心感。子育て世帯が空き家バンクで家を購入した場合、修繕の費用を補助する制度があります。

問 宅建業協会への流れだけでは、来訪者のきっかけや地域との接点づくりが弱く、移住・定住につながらないと思います。まずは、

空き家を1軒から2軒ほど活用し、週末や平日を問わずに移住体験メニューや低負担プランの紹介などを実施する考えはないか。

また、物価高騰の中、年金生活者、低所得者、母子家庭の方々が民間の賃貸を借りるには負担が大き過ぎるといった問題も発生しています。町として空き家を活用し、こうした方々が利用しやすい施策に取り組むことについて考えは。

答 (企画振興課長)

全国には様々な移住体験を提供している市町村があることは承知しています。町内に体験の場を用意できないか。というご提案ですが、登録されている空き家が少数であること、空き家になってから長期間の年月が経っている物件が多く、すぐに住める物件でないと、一定の修繕をしないと住めないことから移住

体験は難しいと思います。

問 空き家バンクに登録しているのは3軒とお聞きしましたが、町内の空き家は増えています。こうした空き家が空き家バンクの登録につながる施策の検討を求めますがいかがか。

答 (企画振興課長)

空き家のまま放置されるよりは登録していただき、新しい方に住んでもらえるのが何よりだと考えていますが、町内で空き家が流通しているという現実もありますので、その辺とのバランスも考えながら、何かいい施策がないか検討したいと思っています。





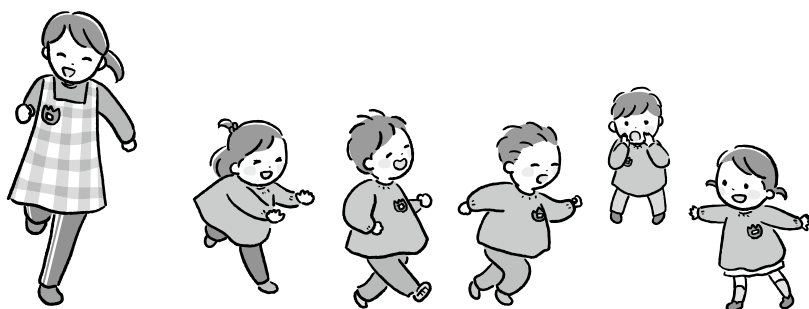
西澤 ひろかず 議員

認定こども園について

厳しい状況、種々検討する

- 問** 子育て家庭の多様なニーズに対し、待機児童問題の解消や子どもの健やかな成長を支援するため、本町でも認定こども園の設置を考えてはどうか。
- 答** (教育次長)
将来的に認定こども園の設置について検討するべき案件と認識しているが、現時点では設置に向けて具体的検討は行っていない。
- 問** [問題点]
① 専業主婦家庭が減少したことによる幼稚園利用者
の減少、定員割れ
② 共働き世帯の増加による
保育所の待機児童
[必要性]
③ 幼稚園の教育機能と保育
所の保育機能を幼保一元
化という形で、両方の機
能を備えた施設の設定、
地域の子育て家庭を対象
とした相談や親子の集い
の場などの子育て支援
- 問** [課題]
④ 保育士の確保
⑤ 整備、財政的問題等
以上の点についてどう考
えているか。
- 答** (教育次長)
① 以前と比べて子どもが約
半数になっており、保育
園の利用者数はそう変
わっていないため、幼稚
園の利用者の減少が影響
を受けていると考える。
② 確実にできるといってお
答えはできないが、令和8
年度から預かり保育の実
施ができるよう鋭意準備
を進めている。できるだ
け早期に実施していき
たい。
- 問** ③ 子育て支援事業は子育て
支援センターで担ってお
り、令和8年度からこど
も家庭センターが本町で
も実施される予定で、地
域の子育て支援の強化を
進めていきたい。
- 答** ④ 保育士の確保は、人材紹
介、人材派遣の予算を計
上し種々努力を続けてい
るがなかなか厳しい。
⑤ 例えば幼稚園を認定こ
ども園にすれば待機児童問
題は解消できると考える
が、その場合0、1、2
歳児の受入れをする施設
のため、幼稚園そのもの
の造り変えになる。特に
近年、財政状況がかなり
厳しい状況にあるため、
種々検討が必要。
- 問** [定員がいっぱいで預け
られないため他方の保育園
を選んだり、幼稚園のお迎
えの時間に行けないため仕
事に行っていないという声
を聞くが。]
- 答** (教育次長)
仮に来年度から幼稚園の
預かり保育が実施できれば、
現在の幼稚園よりも長く預
かることが可能になる。保
育園でなくても幼稚園を希
望する方が一部保育園から
流れれば、幼稚園の利用者

も増え、保育園定員の余裕
も出てくると考えている。



小学校低学年の通知表廃止の検討を

通知表は重要な役割を果たしていると認識している



本田 きよはる 議員

問 発達途上の子どもに対して、序列化による劣等感を与えることは教育環境として望ましくありません。他県では見直す動きが出てきていますが、本町でも、低学年の通知表制度の是非を改めて検討すべきではないでしょうか。世界的な流れでも、フィンランドの教育改革では、他人と比較するためのテストなどを一切しない。そもそも勉強は他人との競争という考え方がなくなっている。学習は子どもが自ら知識を求め探求していくことだと捉えられて、それを助けることが教育だとされています。

答 (教育長) 現時点では、通知表は重要な役割を果たしていると認識しておりますので、廃止する考えは持っておりません。

個別の懇談あるいは所見方式による評価方法について、児童に対して現在の学習状況をどう伝えるのか、また、学校から保護者に対してどのような形で学習状況を伝えるのか、一定研究の必要があると考えます。



補聴器への補助金の引き上げを 助成限度額の引上げは 現在のところ考えていません

問 加齢性難聴は認知症リスクの1つであり、補聴器の活用は予防策としても重要です。本町の補助金上限4万円は低く、他自治体と比較しても、改善の余地があります。根室、南相馬、刈羽、東京都葛飾では最大10万の補助を実施しています。

補聴器導入に対する現在の補助上限額(4万円)を、住民の実情に即して10万円まで引き上げることを提案します。

答 (保健福祉課長)

補聴器購入助成につきましては、令和2年度から実施し、令和3年度に対象者

を非課税世帯のみの要件から本人非課税に緩和し、令和6年度からは本人非課税要件を撤廃し、助成限度額を2万5,000円から4万円に引き上げています。

助成限度額の引上げは現在のところ考えておりません。





今村 えみこ 議員

持続可能なごみ行政を問う

プラスチックごみの分別資源化は検討します

問 ①彦愛犬広域行政組合でごみ処理施設整備の方針転換を提案したのはなぜか

②プラスチック分別資源化の拡大を

③町の生ごみ分別資源化の拡大を

④町のごみ処理経費を減らすために町民啓発の拡大を

答 (町長)

①について田島新管理者からの方針転換を了承しました。

(住民生活課長)

②についてプラスチックごみの分別資源化は、可燃ごみの減量化に必要で今後検討します。

③と④について、家庭でできる生ごみ堆肥化講習会やごみ問題の連続講座などは、廃棄物減量等推進協議会で検討します。

問 広域議会の8月定例議会では、この方針転換補正

予算は否決されました。熱回収型焼却炉は「サーマルリサイクル」と日本では言いますが、国際的には、プラスチックごみを燃やしたCO₂を排出するのでリサイクルではないと言われています。町長はなぜ合意したのか再度説明を。

そして、町のごみ行政経費は令和6年決算で1億5000万円以上です。この経費を減らすためにごみの減量・資源化を進めるべ

きと考えますがいかがか。

答 (町長)

今回は、トンネルコンボスト方式より整備費が安くなる点と、1市4町でごみの減量化を進めながら、広域でエネルギー回収型の焼却施設整備に賛同したものであります。



の売払いを検討したいかがか

答 (人権政策課長)

①について、町に返還された空き家は、高野瀬団地で11軒、長池団地で9件です。②については、年に3回除草、清掃をしております隣住民からのクレームはありません。また、売却については住宅の修繕費が高つくので検討するつもりはありません。

町返還改良住宅の適正管理と売払い促進を

現時点で売却するつもりはございません

問

①高野瀬団地、長池団地で町に返還された空き家はそれぞれ何軒あるのか

②町は、公衆衛生上の管理はできているのか、また、この空き家を町営住宅入居者やその他一般町民へ

問 改良住宅譲渡も進んできました。町の長寿命計画では、築後80年は公共施設が使えるとなっています。町は、必要な改修はこない、早めに売却を検討すべきではないですか。

答 (人権政策課長)

町の施設管理、売却について、議員との論点が違っていると思うので答弁は差し控えます。

令和7年度 町村議会広報研修会に参加

町村議会広報研修会は、去る8月28日東京で開催され、広報委員5名と議長が参加しました。研修には、全国から議会広報を担当する町村議会議員が集まり、「議会だより」がより町民にとって魅力的で、手に取って読んでもらえるために、どのような内容を取り上げるのか、編集上必要とする技術についての研修でした。



研修会では、3人の講師から話がありました。一人目は「インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう」というもので、地域でのイベントを取り上げた場合、参加した方からの感想とともに、運営者の苦労や工夫を加え複眼で伝える工夫。新しい建物が建てられた場合でも、施設の素晴らしさとともに反対の意見の人からの思いも掲載するなど具体例が出されました。

二人目の講師からは、「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本」。広報紙として「人の撮り方の構図」への注意点、被写体の大きさ、カメラと目の位置を同じ高さにそろえるなど、細やかな写真技術内容でした。

三人目は、「議会活性化と連動した広報紙づくり～住民の政治参加をうながすツール～」の内容で、福岡県大刀洗町の議会広報委員会委員長をされている方からの話で、「毎号読んでみようか」と思ってもらえるだけでも前進だと受け止め、全戸配布される究極のプッシュ媒介である議会広報紙が、住民の政治参加をうながすものとなるようにとの願いを持って取り組むことの大事さを提起されました。

この研修会の学びを生かし、『とよさと議会だより』の編集に携わっていく決意です。

広報常任委員会委員長 本田 清春

ご意見・ご感想を 教えてください

とよさと議会をお読みになってのご感想や議会についてのご意見などがあれば豊郷町議会まで教えてください。



✉ gikai@town.toyosato.shiga.jp
☎ 0749-35-8130

12月議会の予定

12月5日(金)	開会
12月8日(月)	一般質問
12月10日(水)	予算決算常任委員会
12月11日(木)	総務建設常任委員会
12月12日(金)	文教民生常任委員会
12月22日(月)	再開

* 時間はいずれも9時からです。
* 傍聴は誰でもできます。お気軽にお越し下さい。議場は3階です。
* 日程が変更になる場合があります。

編集後記



秋も深まり、夜の寒さにこれから訪れる冬の気配を感じるようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

滋賀では昭和56年以来、44年ぶりの開催となる「わたしのSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」が県内を会場に熱戦を繰り広げて盛会裏に閉幕しました。私は、選手たちの大会にかけける情熱や努力に感銘を受けました。

一方で私たち議員は、皆様の意見や声を議会において質問や質疑・討論といった形で行政に問いかけ、より良い豊郷町となるよう政策につなげることを目指して行政に提案しています。

しかし、このほか全ては思いどおりにはいかず、時には議員としてどのように判断し、どのように行動したらいいのか、正解が分からなくなり苦慮をさせられることも多々あります。

こうしたとき、国スポ・障スポの選手たちの大会にかけける努力と想いを見聞きしますと、改めて議員としての職責を全うするため初心を思い起こし、自分に磨きをかけ議会に臨んでいかなければと自身を奮い立たせています。

議会広報は、文字どおり議会であった審議内容等を中心に皆様にお知らせしているものです。一人でも多くの方に読んでいただけることが、私たち議会広報常任委員会委員の励みとなります。

ますます寒さが厳しくなっていく季節となりますが、お体には十分お気を付けください。ますよう願うとともに、ご愛読いただいていることに感謝を申し上げ引き続き何卒よろしくお願ひ申し上げます。

議会広報常任委員会委員 井上 喜美子